

北陸圏広域地方計画
第3回「産業と活力専門分科会」
検討資料

平成19年6月11日
北陸圏広域地方計画推進室

1. 独自で先駆的な地域づくりに向けて…

- 独自で先駆的な地域づくりに向けた北陸特有の課題を把握するため、マーケティング手法の一つであるSWOT (強み:Strength、弱み:Weakness、機会:Opportunity、脅威:Threat) 分析手法を用いて、北陸の強み・弱み分析を行い、北陸独自の課題解決の方向性を明確化

(1) 時代の潮流(外部環境の変化)

【機会】

グローバル化と環日本海諸国の発展
癒しの重視

- ・日本人のライフスタイルの変化
- ・団塊世代のセカンドライフ
- 新たな「公」の役割の拡大
- 防災技術の向上

【脅威】

人口減少・高齢社会の到来
経済や人的交流に関する国内他地域との競争の激化
災害・治安・環境等リスクの増大

- ・東海地震などの災害の恐れ
- ・地球環境問題
- ・環日本海諸国がもたらす黄砂などの国際的な環境リスク

(2) 北陸圏の地域特性(内部環境の強みと弱み)

【強み】

良質な生活環境

- ・全国一優れた居住空間、居住環境
- ・女性の高い就業と長寿地域
- ・高速道路や新幹線、空港、港湾など整備されつつある社会資本
- 多様で豊富な地域資源等
- ・優秀な人材の輩出や食糧、エネルギー等の供給基地
- ・豊かな資源をもたらす日本海
- ・四季の明確な特色ある自然、個性的な歴史・伝統文化、美しい景観
- ・特色ある産業、特色ある伝統産業
- 地理的優位性
- ・日本列島の中央に位置し、三大都市圏を後背地に持つ地理的な優位性
- ・日本海を挟んで成長する環日本海諸国に対面

【弱み】

厳しい自然環境

- ・脆弱な地勢や厳しい自然条件
- ・日本海側の冬場に荒れる気候
- 相対劣位な利便性
- ・半島地域や中山間地における過疎化の進展
- ・中心市街地の空洞化
- ・車社会の拡大と公共交通の衰退
- ・相対的に少ない国際的なヒト・モノの交流
- 相対的に低い交流・連携
- ・不十分な3県間や大学間の連携
- ・面積、人口、経済規模は小
- ・未活発な新規創業や経済・産業交流
- 雪国の暗いイメージ

2. 関連計画等からみた方向性

- SWOT分析手法による北陸独自の課題解決の方向性の明確化に向け、関連計画等からみた方向性を整理

	各県計画	国関連計画
交流・連携・拠点	3大都市圏等との交流	環日本海・日本海国土軸の拠点
生活	安全・安心な生活	安全・安心の確保
	文化活動・豊かな生活	
産業・経済	活力ある産業	活力ある圏域

【関連計画での方向性】

- ・安全・安心な生活の確保
- ・産業活力のある圏域
- ・わが国をリードする圏域（環日本海・日本海国土軸の中核・拠点）
- ・交流・連携の促進



関連計画からみた3つの方向性

【方向性1】
中核・先導区域の役割

環日本海交流を先導
日本海国土軸の中核

【方向性2】
圏域内の充実

活力ある産業
文化を享受する豊かな生活

【方向性3】
交流・連携への展開

地域を中心とした交流

充実した圏域内の産業を活用し、環日本海交流の先導・日本海国土軸の中核形成の役割発揮へ

充実した圏域の活力ある産業と豊かな生活環境資源を活用し、国内外の交流・連携の展開へ



SWOT分析による課題の抽出

3. SWOT分析による課題の抽出

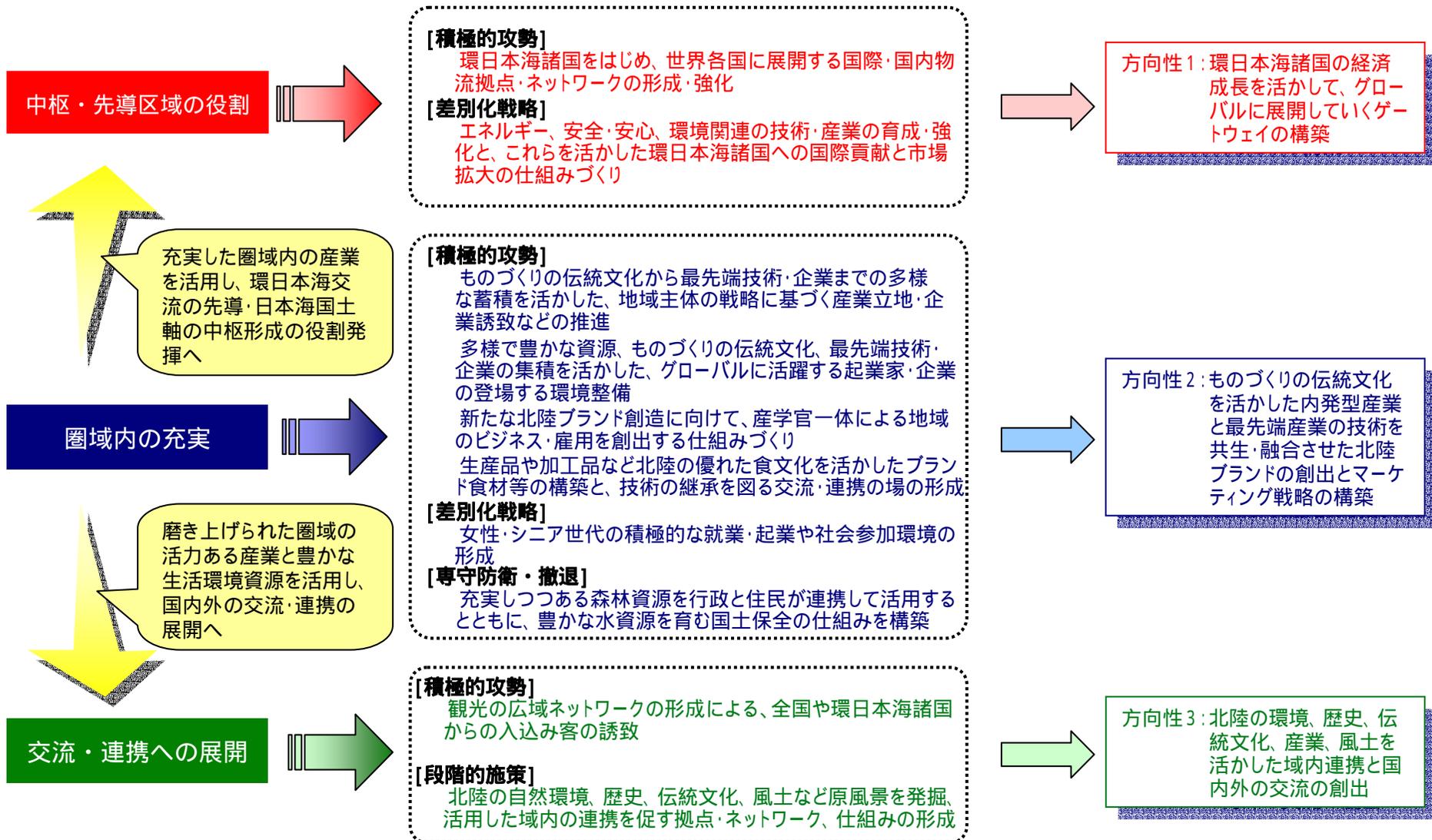
積極的攻勢: 機会を活かして強みを強化し伸ばす戦略
 段階的施策: 機会を活かして弱みを克服する戦略

差別化戦略: 脅威に対して強みを用いて優位性をアピールする戦略
 専守防衛・撤退: 安全安心を加味し、脅威に対して弱みを補強する戦略

凡例 「中枢・先導区域の役割」に 対応する課題; 赤字 「圏域内の充実」に対応する 課題; 青字 「交流・連携への展開」に対応 する課題; 緑字		外部環境	
		【機会】	【脅威】
内部環境	【強み】 良質な生活環境 多様で豊富な地域資源等 地理的優位性	グローバル化と環日本海諸国の発展 癒しの重視 新たな「公」の役割の拡大 防災技術の向上	人口減少・高齢社会の到来 経済や人的交流に関する国内他地域との 競争の激化 災害・治安・環境等リスクの増大
	【弱み】 厳しい自然環境 相対劣位な利便性 相対的に低い交流・連携 雪国の暗いイメージ	北陸の自然環境、歴史、伝統文化、風土など原風景を発掘、活用した域内の 連携を促す拠点・ネットワーク、仕組みの形成 ・弱み: 「相対劣位な利便性」、「相対的に低い交流・連携」、 「雪国の暗いイメージ」 ・機会: 「グローバル化と環日本海諸国の発展」、「癒しの重視」	エネルギー、安全・安心、環境関連の技術・ 産業の育成・強化と、これらを活かした環 日本海諸国への国際貢献と市場拡大の仕 組みづくり ・強み: 「多様で豊富な地域資源等」、 「地理的優位性」 ・脅威: 「災害・治安・環境等リスクの 増大」、「経済や人的交流に関 する国内他地域との競争の激化」 女性・シニア世代の積極的な就業・起業や 社会参加環境の形成 ・強み: 「良質な生活環境」 ・脅威: 「人口減少・高齢社会の到来」
		積極的攻勢	差別化戦略
		段階的施策	専守防衛・撤退

4. 戦略的取り組みの方向性

- 「優れた人材、伝統産業から先端産業までの蓄積や地理的優位性」という強みを再評価し、圏域充実に向けて強みを磨き上げ・強化することで、グローバルに展開する北陸ブランドを創出し、磨き上げられた強みを活用して、国内外の観光・交流の促進を目指す



5. 地域づくりの方向性と課題

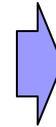
環日本海諸国の
経済成長を活か
したゲートウェイ

1

環日本海諸国の経済成長を活かして、グローバルに展開していくゲートウェイの構築

【北陸圏の課題】

(1) 環日本海諸国をはじめ、世界各国に展開する国際・国内物流拠点・ネットワークの形成・強化



【実現方策（アイデア）の取り組み例】

- (1) 地理的な優位性を活かし、三大都市圏や環日本海諸国、北米などグローバルに展開する新たな物流・流通拠点やネットワークの整備による「翌日配達圏」の拡大
- (2) 国際港湾・空港・高速陸上輸送機能など、新たな物流・流通網を支える基盤の機能整備・強化とセーフティネットの確立
- (3) 行政、民間一体となった港湾運営の再構築

(2) エネルギー、安全・安心、環境関連の技術・産業の育成・強化と、これらを活かした環日本海諸国への国際貢献と市場拡大の仕組みづくり



- (1) 伝統技術や先端産業の技術を生かし、エネルギーや安全・安心(リスク)に関する新規業態の創出
- (2) 環境産業の育成・拠点形成とマーケティング戦略の構築
- (3) 安全・安心に関する技術に対して、環日本海諸国をはじめとする国内外技術者の育成プログラム・拠点の形成
- (4) 癌治療等、医療・薬学分野における最先端医療技術の研究拠点の形成

5. 地域づくりの方向性と課題

北陸ブランドを創造する
北陸型文化産業創造戦略

2

ものづくりの伝統文化を活かした内発型産業と最先端産業の技術を共生・融合させた北陸ブランドの創出とマーケティング戦略の構築

【北陸圏の課題】

- (1) ものづくりの伝統文化から最先端技術・企業までの多様な蓄積を活かした、地域主体の戦略に基づく産業立地・企業誘致などの推進
- (2) 多様で豊かな資源、ものづくりの伝統文化、最先端技術・企業の集積を活かした、グローバルに活躍する起業家・企業の登場する環境整備
- (3) 新たな北陸ブランド創造に向けて、産学官一体による地域のビジネス・雇用を創出する仕組みづくり(人材育成、人材交流、異業種連携、共同マーケティング戦略構築など)

【実現方策(アイデア)の取り組み例】

- (1) ものづくりの伝統文化、最先端技術・企業の蓄積や優れた住環境のPRなどにより、創造性豊かな国内外の企業誘致の推進や既存企業の投資拡大による企業規模の拡大など国際競争力の強化
- (2) 伝統産業と最先端産業の連携・交流によるイノベーションを促進する環境の形成と、バイオ・ナノテクなどの世界トップレベルの研究開発拠点の形成
- (3) サプライ・チェーン・マネジメントやジャスト・イン・タイムの要請に対応した国際港湾・空港・高速陸上輸送など、新たな物流・流通網を支える基盤の機能整備・強化

- (1) 北陸の特色ある自然環境、優れた住環境等を活かした、本来北陸が持っている地域イメージの発信
- (2) 優れた住環境を活かした、高付加価値型・研究開発型の知識集約型業態をはじめとした起業家の誘致促進
- (3) 精緻な仕上げの伝統を活かした、高品質産業の起業環境の形成や中小企業群のクラスターへの再編
- (4) ITとの組み合わせによる新しい産業・サービスの創出
- (5) 豊富でおいしい食材(水産物等)や伝統的工芸品等の販路開拓の促進

- (1) 三大都市圏や環日本海諸国に対するマーケティング戦略の構築と、それにもとづく北陸ブランドの構築(メイドイン北陸;一貫した地元企業による製造~販売体制の構築)
- (2) 新たな「公」を中心とした産学官民の広域的な協働により、優れた伝統技術・人材を活かした交流の場及び新規事業、起業家への支援の場の構築(異業種交流等)
- (3) 優れた住環境等の魅力による全国からの団塊世代等の吸引と彼らの有する知恵・経験の集約と活用の仕組みづくり
- (4) 環日本海諸国をはじめとする留学生等の招聘による人材育成・交流の仕組みづくり
- (5) 3県の学生等の海外留学支援制度の創設
- (6) 3県の大学等の連携による起業家育成のための教育システムの構築
- (7) 小中学校段階から伝統産業、地域産業に触れることで地域への愛着と誇りを育てる実践教育の推進
- (8) 新幹線開通の効果を高める地域の公共交通など二次交通のネットワークの強化

5. 地域づくりの方向性と課題

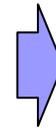
北陸ブランドを創造する
北陸型文化産業創造戦略

2

ものづくりの伝統文化を活かした内発型産業と最先端産業の技術を共生・融合させた北陸ブランドの創出とマーケティング戦略の構築

【北陸圏の課題】

(4) 生產品や加工品など北陸の優れた食文化を活かしたブランド食材等の構築と、技術の継承を図る交流・連携の場の形成



【実現方策（アイデア）の取り組み例】

- (1) 雪、水、日本海側気候の特色を活かしたブランド食材の構築
- (2) 豊富な水産資源・豊富な水・伝統的な農林水産業の技術を活かした新たな人材・企業誘致のための環境づくり
- (3) 美しい農山漁村景観等とこれらを保持する優れた技術の活用により、都市部の起業家等の癒しの場等となる体験・交流・教育の場づくり
- (4) 都市部との交流・連携を通じた、雪、棚田、漁港、山林などの美しい農山漁村景観の保全と、農林漁業の生産基盤や集落機能の適切な維持・更新
- (5) 農業の多角化経営の推進

(5) 充実しつつある森林資源を行政と住民が連携して活用するとともに、豊かな水資源を育む国土保全の仕組みの構築



- (1) 森林組合等による施業の集約化により、森林の整備と木材の安定供給を推進する体制の整備
- (2) 新たな「公」も活用した中山間地における国土保全の仕組みづくり
- (3) 景観にも配慮した間伐材を活用した斜面保護対策など、地域の伝統的ノウハウを活用した官民協力による地域完結型ストック更新の仕組みづくり

(6) 女性・シニア世代の積極的な就業・起業や社会参加環境の形成



- (1) 高い女性就業率を支える子育て環境の維持・拡充
- (2) 女性の就業・起業や社会参加環境のための広域的な交流、情報提供等支援の仕組みづくり
- (3) 団塊世代など中高年の就労支援や農業の教育など広域的人材育成システムの構築

3

北陸の環境、歴史、伝統文化、産業、風土を活かした域内連携と国内外の交流の創出

【北陸圏の課題】

(1) 観光の広域ネットワークの形成による、全国や環日本海諸国からの入込み客の誘致



【実現方策（アイデア）の取り組み例】

- (1)北陸の多彩な観光資源を組み合わせ、新幹線等の高速交通ネットワークを活用した他圏域と連携した広域観光ルート(黒部 - 松本、五箇山 - 白川・高山、若狭 - 滋賀・京都等)・商品の構築
- (2)国際空港・港湾機能の強化による広域観光ルートにおける環日本海諸国のゲートウェイ機能の強化
- (3)三大都市圏、環日本海諸国をはじめとして全世界に向けた、北陸広域観光ルートを活用した観光プラン・商品のプロモーションの促進
- (4)外国人受け入れ環境(入国、標識、案内)の整備とボランティアの活用等によるホスピタリティの強化
- (5)温泉地の再生や産業遺産観光・文化観光等の新しい観光スタイルの創出

(2) 北陸の自然環境、歴史、伝統文化、風土など原風景を発掘、活用した域内の連携を促す拠点・ネットワーク、仕組みの形成



- (1)雪国文化、厳しい自然を生き抜く知恵など生活様式を含む原風景や伝統的な工芸等技術を活かした体験・交流型観光商品の開発
- (2)雪(国生活)の資源を最大限に活用し、ボランティア等の新たな「公」との協働も取り入れ、エコツーリズムなどの自然体験型サービスの提供体制の構築
- (3)観光と連動した中山間地の利便性を確保する商業・コミュニティ拠点形成
- (4)雪国の特性に応じたコンパクトなまちづくりの推進による、中心商店街の形成と社会資本の維持管理コストの低減
- (5)新たな公共交通システムの導入など、圏域内の交通体系の再構築による域内アクセスの強化

